

令和元年度3月号 [3月13日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

巣立ち行く73期生に贈る

校長 安部正幸

本来、卒業式での式辞は式辞用紙に書いたものを読み上げ、包に入れて演台の上に置き降壇するのが正式なスタイルです。今年は、対象が卒業生の皆さんだけになったことから読み上げるのをあえてやめ、卒業生の皆さんの顔を見ながら、私自身の言葉で話すことにしました。その内容を以下に記しておきます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんはこれまで、在校生としてしっかりと先輩たちを見送ってきました。今年は、その主役の席に座り、多くの人たちに見送られながら巣立って行くことを夢見てきたことと思います。しかし、その夢は新型コロナウイルスの影響で叶えることができませんでした。私自身、残念でなりません。それでも、今、皆さんがいるこの会場は、昨日、東中学校の先生方が心を込めて皆さんのために作り上げたものです。在校生が作る会場にも負けないものができあがったと思います。ぜひ、先生方の皆さんに対するそのような思いを酌みとって下さい。

さて、一昨日は東日本大震災から9年となる日でした。9年間と言えば、まさに皆さんの義務教育期間と重ります。皆さんの小学校の入学式は、震災直後の節電が叫ばれる中で行われました。あれから9年。今度は新型コロナウイルスという見えない敵との戦いの中での卒業式となりました。私がよく避難訓練の時に皆さんに話していた『自分の命は自分で守る』ということが一番痛感しているのは、この義務教育期間中、様々な災害を乗り越えてきた皆さんたちではないかと思っています。今回の臨時休業も突然やってきました。思えば皆さんを含めて全員で歌った校歌は3学期の始業式が最後となりました。最後の給食は、公立高校入試前日の給食となってしまいました。まさに、明日何が起こるかわからない時代です。だからこそ、今やるべきことは明日に延ばさないことが大切なのだと、私は今回の事態を見てその思いを強くしました。

話は変わり、一昨年民法が改正され皆さんは18歳の誕生日をもって成人になります。一つ年上の先輩たちも18歳で成人になりますが、先輩たちは誕生日の次にやってくる4月1日に一斉に成人になります。つまり、18歳の誕生日をもって成人になるのは、皆さんが最初の学年ということになります。4月生まれの人は、あと2年余りで成人です。今義務教育を終え中学校を巣立って行く皆さんは、それと同時に大人になる準備をこれまで以上に急がなくてはなりません。大人になる準備として大切な心構えの一つに、自分に対する甘えを無くしていくことが挙げられます。そのためには、自分で考え決断して行動していくことが大切になってくると思います。皆さんには、中学校入学の時から、お世話になった地域を大切に、地域のために活躍できる大人になってほしいと思ってきました。東中学校の卒業生として立派な大人になってくれることを期待しています。東中学校は地域の学校です。卒業した後も、今度は地域の一員として東中をぜひ応援してください。

卒業生の皆さんの前途に幸多かれと祈り式辞といたします。